

*** ご・あ・い・さ・つ ***

今年もあっという間に一年が過ぎました。気がつけば病気と付き合い合った期間のほうがずっと長くなってしまいました。私は、幸いにも薬の量も少なく、日常生活も普通に送っています。しかし、今年自分自身のことではなく、家族のことで気をもんだ一年になりました。まだまだ来年も気をもみそうですが、今この時間を大切に思いながら過ごしていきたいと思います。

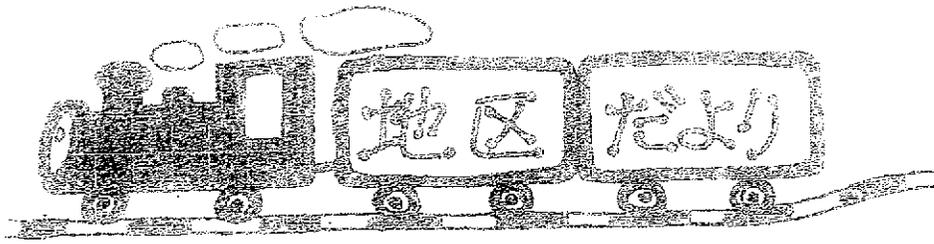
灯油の値上げなど物価の値上がりや、医療・福祉の状況を考えますと、私たちの生活は今後安心して暮らせるとは言いがたいものもありますが、それでも私たちは生きています。人生、いい時も悪い時もあり、いろいろな経験を経ていくことが、実感がなくても、自身にとってプラスになっていると思います。

最近、特に思うことは、何歳になっても新しい人との出会いは自身にとってどう影響を受けるかわからないなあと思ったことです。その時々偶然の出会いの積み重ねで今の自分がある不思議も感じています。

今年あった出来事を思い出しながら、また来年はどのような一年になるだろうか。皆さんにとりまして来年もいい一年になりますように。

(支部長 埋田晴子)





《帯広地区》

◇◇ 小物作り ◇◇

10月30日、帯広地区(わたぼうしの会)では、十勝プラザの一室を借りて、ビーズ細工、フェルトスイーツ、炭に造花などをつけて、飾り物を作りました。時間はみるみる過ぎてしまい、夕方近くまで小物作り、おしゃべり、お茶とお菓子で、とても楽しいひとときを過ごすことができました。いつになく、時間を忘れ、作業に没頭したように思います。たまには、こんな時間もいいのだと思いました。普段は細かいことはしないので、難しいのではと思っていましたが、皆さんと一緒にだと、結構楽しくできるのだと気づきました。今回は、出席してくださった皆さん方にも、「楽しかった。」と言っていただけなので、この次も何か楽しんでいただけるものを考えたいと思っています。

(帯広地区連絡会 干場弘美)



楽しそうな様子が目に浮かびます。ビーズ細工やフェルトスイーツは流行ってるみたいですね。先日、手芸店をのぞいた時に気軽に始められるキットがいろいろありました。特に、フェルトスイーツはとてもかわいくて、小さい子のままごと遊びにも使えるなあなんて思いました(我が家には小さい子はいないけど...)。やってみたことがない人もやってみると意外に楽しいかもしれませんね。ちなみに、私はクロスステッチが好きです。(しゅちょう埋田)

事務局からのお知らせ

☆ ご寄付をいただきました。(2007.11.1～2007.12.10)

梅井みち子 様

藤川 久子 様

合計 3,600 円

ありがとうございました。

*** 署名・募金のお願い ***

JPA(日本難病・疾病団体協議会)の「難病、長期慢性疾患、小児慢性疾患の総合対策を求める」ための国会請願署名および募金活動が始まっています。私たちが病気や障害をもって、高齢になっても、いつでもどこに住んでいても、安心して必要な医療が受けられ、希望と生きがいを持って生活できる社会の実現を目指してご協力をよろしくお願いします。

募金は、今回の国会請願活動に必要な諸経費(署名用紙など)やJPAとその加盟団体の諸活動を進めるための貴重な資金として、活用させていただきます。

昨年、膠原病友の会北海道支部では、請願署名数 389 筆、募金額は 86,200 円と、たくさんの方にご協力いただきました。今年もご協力をお願いします。

(署名にあたってのお願い)

- ・ 署名は自書をお願いします。印鑑、サインは不要です。
- ・ ご家族と一緒に署名してくださる場合、「〴」「〵」などとせず、一人一人住所をきちんとお書きください。
- ・ 郵送先は「全国膠原病友の会北海道支部」までお願いします。

〒064-8506 札幌市中央区南4条西10丁目

北海道難病センター内

- ・ 募金の送金方法は同封の郵便振込用紙にてお願いします。
- ・ 締切は平成20年2月末です。

昨年と一昨年、
私たちの請願は、
衆・参両院で
採択されました。

*** あ と が き ***

音 楽を聞きながら静かに一年を振り返ると、動き回っているうちに過ぎてしまったことと、今年もパリーグ優勝でウレシ～！です。皆さんはどう過ごされましたか？良くも悪くも、今ここにいるという喜び、大切な気がします。雪道、家の中などころばないように気をつけてくださいね。(W)

師 走に入り何かと気ぜわしい日々ですネ。今年は12月になってもミニバイクに乗れる日がありましたが、ガソリンが切れたので、もう来春までストップにし、せっせと歩くことにしました。では、今年が恙無く終えますように、そして良いお年をお迎えください。(K)

先 日、北区に住んでいる甥夫婦の新居が完成したので、両親とお祝いとお赤飯を持って訪問してきました。二人は25歳で、子供は保育所に預け、共働きで夢のマイホームを手に入れ、偉いなあ～と褒めてあげたと思います。おばさんも負けないでガンバラナイト…と刺激を受けて帰ってきました。(T)

生 活の中のいろいろなものの値上がりや家庭のゴタゴタでなんかすっきりしない毎日でした。そんな中、見ているだけでドキドキする人を新聞で見つけてしまいました。さっそく携帯の待ち受けにして、時々見てはニンマリしています。何でもいいから幸せな気分になることが精神的にいいかなと思いました。来年は良い一年になりますように！(U)



~~~~~  
全国膠原病友の会北海道支部

<編集人>

編集責任者 埋田 晴子

〒064-8506 札幌市中央区南4条西10丁目

北海道難病センター内 Tel.011(512)3233

<発行人> 北海道身体障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

Tel.011(736)1724

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻429号 100円

いちばんぼし160号 平成19年12月10日発行(毎月1回10日発行)

~~~~~